



# Pure 純 No.168 Pacific パ Jul.2013

純パの会会報『純パ』第168号

2013年7月27日発行

発行：純パの会 〒161-0032 東京都新宿区中落合3-13-1 塚原方

## 4時間27分

小林 雅弘

今年のライオンズは、苦戦の予想を裏切って4月は大健闘。短い夢を見させてくれましたが、5月以降は、すっかり予想通りの戦いぶりが定着したようです。一カ月だけでも楽しい夢を見させてくれたことに感謝して、本題に入ります。

### 4時間27分。

これは5月4日、西武ドームでのライオンズ対ファイターズ戦の試合時間。延長なし、9イニングの試合で、スコアは9対7。乱打戦というより、ダラダラと点が入る締まらない試合で、最後は同点の8回裏にファイターズの5番手投手として登板した増井が、ヘルマンへ押し出しの四球を出してライオンズが勝ち越し、そして坂田への押し出しの死球が決勝点となりました。3時間半を過ぎたあたりで完全に飽きて、ライオンズの勝ち試合にもかかわらず、試合終了時点では、呆れるやら腹立たしいやら、複雑な思いで帰宅しました。

最近、地元のアメフトのクラブチームが出来たので、アメフトの試合もよく見るようになったのですが、アメフトの試合は、ほぼ2時間で終わります。これくらいの時間だと、集中して観戦でき、なかなか心地よいです。

また、女子プロ野球も観戦するようになり

ましたが、7イニング制なので、こちらも1試合だいたい2時間。今年は、一日に2試合の日程が組まれています。2試合観てもいいかな？ みたいな感じになります。

それに比べて、男子プロ野球の試合時間は、やはり長すぎですね。

日本野球機構のホームページに「平均試合時間目標3時間以内」などと掲載されるようになって久しいですが、実績として3時間以内になった事はこれまで一度としてなく、今年もここまでの平均時間は3時間15分(7月20日現在)9回試合のみ。全試合平均では3時間20分)もかかっています。

いくら試合時間短縮を唱えても実現しないなら、思い切ったルールを変えてしまったらどうでしょう？

ピッチャーの投球開始とともに時間計測開始。プレーが止まったら計測停止。そんな感じで測定した正味試合時間が1時間30分を越えたら、新しいイニングに入らない。試合展開が早い場合でも、通常は最大9イニング。延長の場合は最大12イニング。これなら、恐らく、長くても3時間以内に収まるでしょう。

名付けて、ニューモード野球。

このルールなら、平日の西武ドームでも、終電を気にせずに見に行けるんですけどね。